

1) 「お母さんと子ども、どちらが大きい?」
 2) 不等号(<, >)を用いて大小関係を表す。
 3) 不等号の切り貼りは必要なら援助。

a) 比較による大小の印象を量的な判断におよびつける。
 親子ペアでの比較は、視知覚的判断に生活上の概念的判断が重なって、理解が一般化する。
 b) 不等号による応答形式になじむ記号体験(習得には習熟を要するので、あわてなくてよい)。



どちらが おおきい?

